



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
 AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S

The Y's Men's Club of Kanazawa

CHARTERED JULY 9, 1947

c/o KANAZAWA YMCA 44-1-202 SATOMI-CHO KANAZAWA 920-0998

国際会長主題	「世を照らす光となろう」	“Be the Light of World”
アジア地域会長主題	「歳月はY'sをワイズ(賢者)にする」	“Years Bring Wisdom”
西日本区理事主題	「先頭にたつてワイズの光を輝かそう クラブで、地域で、国際社会で」 “Let's Y'smen Light Shine before Others, in the Club, in the Community, in the World”	
中部部長主題	「前へ！声を掛け合い1」	“Go forward! Call Together”
金沢クラブ会長主題	「より楽しく・より豊かに 伝えようワイズワールド」	

2012 11 月間強調 Public Relations Wellness

今月の聖句

だから、目を覚ましていなさい。いつ家の主人が帰って来るのか、夕方か、夜中か、鶏の鳴くころか、明け方か、あなたがたには分からないからである。

マルコによる福音書 13章 35節

11月強調月間

ワイズデーは外部に活動報告をアピールするよい機会です。行政・他団体と積極的に関わりを持ち、幅広く広報されるような活動を行いましょ。

吉村 秀喜広報事業委員(長浜クラブ)

11月例会プログラム

とき	2012年11月15日(Thu.) 18:30~20:30	
ところ	金沢ニューグランドホテル	
会費	¥3,000(会員不要)	¥2,000(メット)
開会・点鐘	司会	伊藤仁信君
主 題	幸正一誠会長	
ワイズ・ソング	司 会 者	一 同
今月の聖句	司 会 者	幸正一誠会長
ハッピー・ハーステイ	西尾一朗君	
ゲスト紹介	瀧谷洋太郎君	
食前の感謝	「鉄砲撃ちの世界」	
スピーチ	県猟友会金沢支部長	奥村勝幸氏
委員会報告	各 委 員	
ニコニコタイム	一 同	
YMCAの歌	幸正一誠会長	
閉会・点鐘		

10月クラブ活動状況

第1例会 (10月18日 Thu.)	
メ ン :	伊藤、影山、数澤、高口、幸正、瀧谷、西尾、山本 (8名)
出席率 :	89 %
メネット :	数澤、高口、瀧谷、山内、山本 (5名)
コメント :	西尾和晴くん
ゲ ス ト :	荒川文門・まこと夫妻、谷川修氏 朝倉秀之氏、北肇夫氏、山本恵美さん (6名)
第2例会 (10月1日 Mon.)	
メ ン :	伊藤、数澤、幸正、瀧谷 (4名)
メネット :	数澤、山内 (2名)
ニコニコタイム	17,000円
クラブファン ド 累計	52,600円
B F ポ イ ン ト	
切手	0 kg 累計 0 kg
現金	0円 累計 0円

会 長	幸正一誠	書 記	山内健司
副 会 長	瀧谷洋太郎	会 計	高口 昇
前 会 長	数澤輝夫	メット会長	数澤淑子

第一例会：毎月第三木曜日 18:30~20:30
 金沢ニューグランドホテル Tel(076)233-1311
 第二例会：毎月1日 18:30~20:00
 金沢ニューグランドホテル 2F (トレド)

来年の第16回西日本区大会に向けて

澁谷洋太郎

あちこちの西日本区大会に出かけましたが、いよいよ中部での大会がやってきました。

成瀬理事がびわこ長浜で出発されてから、いやそれ以前から区大会の準備が水面下で行われておりました。故長井潤くんが取りかかっていたのですが、彼の召天により振り出しにもどりました。再スタートを佐野理事の時と関わりがあり、四日市クラブが暗黙の内に引き受けることになりました。

長井ラインで進んでいた作業が頓挫し、新しい発想で名古屋市内での開催になりました。当然大会実行委員長は四日市クラブからの輩出となります。四日市クラブには旅行社に関係のあるメンもおられ、実行委員長には若松芳弘ワイズが就任されました。

当然ホストクラブは四日市・名古屋クラブです。それを助けるのは名古屋地区の東海・南山・プラザ・グランパス・津クラブですが、北陸の金沢・犀川クラブがカヤの外にありました。これでは中部全体にならないので、中部全体でこの西日本区大会を成功させようと全クラブがホストすることになりました。

成瀬理事体制がスタートしてすぐに実行委員会が活動を開始いたしました。しかし、名古屋クラブが長井ショックで活動が鈍く、気を揉んでおりましたがようやくエンジンがかかってきました。

実行委員会の開催はもう12回を数えようとしております。これからますます頻度を増していきます。私どもの最初の協力作業はこの実行委員会が、スムーズに準備作業を進めるための運用資金の提供でありました。実行委員会が中部全員134名より夫々1万円を大会終了時まで借用いたしました。この運用資金を無事返済できるように大会参加者が一人でも多くなるようにアピールして行くことが大きな課題です。

各部会でのアピールが効果を発揮してくれますように願っております。

(実行委員会のメンバーについては別紙参照)

奥村 勝幸氏 プロフィール

昭和22年生まれ。

社員の傍ら、趣味で狩猟を始めて40年。

16年前に退職、11年前から猟友会の金沢支部長をつとめる。

金沢市南部の倉ヶ嶽町の自宅にて、奥様が料理店「熊じろう」を営む。

蚤の航海記

幸正 一誠

我輩は蚤である。金沢クラブのブリテンにお目見えするのも、久しいな〜。ワイズメン&メネットの皆さんよもお忘れではありませんね？なに 我輩を存じない方もいる？う〜〜ん！！

さて、我輩が冬眠ならぬ長い春眠から目を覚まして驚いた。なんと主人がクラブ会長をやっているではないか。昨年は細君より「ワイズと仕事とどっちが大事なの？」と言われ続けていたので細君に頭の上がない主人は、早々と<ハタ坊>のごとく白旗をと思いきや！どのような戦略を取ったのか？主人は現在 大滝秀治調にて「ワイズはたのし〜〜い！」と宣たまって憚らない。主人を担ぎ上げた金沢クラブの皆さんは「見上げたもんだよ、風呂屋のエントツ」である。しかし、こうなった以上は我輩とて主人に一宿一飯の恩義のある身、全蚤力を持って支えようではないかい。みんなもたのんまいね〜〜！！主人は今期も大滝調に「ワイズは航海だ〜！」と宣言したようである。されば、我輩の航海日誌を紐といてみましょう。

7月 キックオフ例会との事で我輩はジャパン・ブルーのTシャツにて参加したが、場違いであった。サッカーやアメフトの様にボールを蹴る行事ではなく、主人が意気揚揚と航海案内をするだけであった。しかも、誰も耳を傾けていない事を主人は知らないのである。その後のフリートーキングでは各メンバーより活発な意見が出た。我輩は金沢クラブはなんと頼もしいクラブだと感じ入った。

8月 主人は何を思ったのか突然「8月例会は納涼祭にする。全員浴衣で出席せよ。」との御布令を発したのである。しかし、某メネットより「浴衣がありません〜ん」の一言にて敢え無く沈没。が、助かったのは本当は主人である。実は主人には浴衣が在るには在ったのだが、細君より「こりゃ 浴衣と言うより寝巻じゃない。時代遅れ！」の一言でこれ又沈没したのである。さて、例会は金沢ニューグランドホテルにて「納涼ビヤール例会」として賑やかしくバイキング会場の皆さんを無視して、金沢クラブらしくワイワイ・ガヤガヤと皆さん笑顔一杯で閉店時間まで飲み・食べ放題を楽しみました。次期中部部長の平ロワイズ(犀川クラブ)も「私も飲みた〜い」と参加されました。さぞ、金沢クラブの裏パワーに驚かれた事だと我輩は少し心配を致しておる。されど、例会たるや「楽し〜い」が一番。ビールは「えっべさん」印が一番とは主人の名言なり。

9月 当月はメネット会の主催にて開催。主人曰く

「俺の出番がにゃ〜だよ」。我輩に言わせれば、たまには「やすらかに おやすみください」(某メネット調に)である。

我輩は蚤であるが、趣味蚤(人)でもある。特に陶器の類は大好きである。九谷焼が有田焼と兄弟関係との話は目からウロコであった。又、その関係を大変判りやすくご説明を頂き大感謝である。出来れば、パートⅡを御願ひしたいのであるが。主人は何かしら、九谷焼=香箱カニを連想するのである。かにシーズンになれば九谷の緑とカニの赤のコンストラクトを眺めつつ、細君の迷惑も顧みず、主人は「えっべさん」印B E E Rを片手に、然も我が知恵なりと言わんばかりに朗々と今回の話をする事だろう。だが、細君にとっては蟹都合なのだ。主人の毒演会中、カニは細君の物となるからである。又、それは我輩の物ともなるからである。今年のカニ年となりそうである。

10月 次号にて

11月 やまもと合衆国へ特別寄航致します。ご期待されたし!! それでは 皆さん よ〜そろ〜

【10月例会報告】

7月に山谷メンが天に召され、要介護5となった山内メンが老健施設に入所となり、寂しくなった金沢クラブですが、10月例会は、中部部長ご夫妻、谷川修理事務局事務局長、北金沢犀川クラブ直前会長、若い山本さんの5名のゲストを迎え、久しぶりに、にぎやかな例会となりました。

例年10月は切手の整理に充てていましたが、部長訪問を受けるということで、スピーカーに金沢YMCA理事長の朝倉秀之氏をむかえ、「キリスト教とホスピタリティの精神」と題して、卓話をお願いしました。

氏が初めてホスピタリティという言葉を使ったのは1973年のこと。ホームステイをしたあと、“Thank you for your hospitality.”と練習をしたということです。「あなたのおもてなしに感謝します」、とか、「お邪魔でした」という意味。これが今のように重要な言葉になるとは思わなかったそうです。

最近では大学にホスピタリティ論の講座が設けられたり、「ホスピタリティ学科」ができたり、スイスにはHospitality Universityという大学もあるという。朝倉氏も今年から大学でホスピタリティ論を15コマ授業することになったそうです。ホスピタリティの語源はラテン語にあるそうですが、ホスピタリティとサービスの類似点と相違点についても触れられました。

聖書のロマ書、テモテへの手紙、ヘブライ人への手紙、ルカ伝の中では、ホスピタリティについては(旅人をもてなす)というようにつかわれているとのこと。

また、学生たちにアンケートをとって調べたところ、「ホスピタリティという言葉聞いたことがあるか」については、半数が「ない」という。意味を聞いたところ「知らない」が80%あったということです。現代はサービス産業からホスピタリティ産業へと変わりつつあるという興味深いお話もありました。

氏は話の冒頭に、金沢YMCAの活動がうまくいかないことを訴えられました。子どもたちを対象にしたプログラム(春の筈狩り、夏のキャンプ、冬のスキーなど)を計画しても子どもたちが集まらない。若い指導者も得られない。学童クラブを開設したが、これも思うように運営できない。ただ、「テニス教室だけは評判がよく、第2回目の教室を開設できることとなった」ということです。やはり片手間にできることではなく、ある程度の財力を持つこと、全力投球できる専任の職員(できれば主事)を置くこと・・・等、資本と人材の確保が必要なのではないかと思えます。金沢YMCAの活動の発展が、今後のワイズメンズクラブの課題となるようです。(文責 山内ミハル)



10月例会を終えて

~~~~~お知らせ~~~~~

☆芋煮会(メネット会例会)のお知らせ

～YMCA少年会員ご招待～

恒例のメネット会主催「芋煮会」を下記により開催いたします。ご家族、お友達お誘いあわせの上、ご参加ください。

日時：2012年11月3日(土・祝)

10:30～14:00(雨天決行)

場所：内川スポーツ広場 TEL 076-229-4013

会費：500円(金沢クラブ会員無料)

持ち物：お椀、箸、敷物

## ☆金沢・金沢犀川クラブ合同クリスマス例会

日時：2012年12月20日(木) 18:30~20:30

場所：金沢ニューグランドホテル

内容：クリスマス礼拝と楽しい祝会

メッセージ 日本基督教団羽咋教会

内城 恵牧師

西尾ワイズ クラブ初のピアノライブを披露

会費：¥4,000 (会員不要) ¥2,000 (メネット)

## ☆京都洛中ワイズメンズクラブ 25周年記念例会

日時：2013年1月19日(土) 16:00~

場所：京都全日空ホテル

登録費：¥10,000

申込み締め切り 12月20日

### 12月の担当

ブリテン執筆： 西尾 一朗君

伊藤 悦子さん

卓話担当： 幸正 一誠君

原稿は11月25日までに山内までお願いします。

## ~~~~~ YMCAのお知らせ ~~~~~

### ☆早天祈祷会

日時 2012年12月1日(土) 6:00~7:00

場所 金沢YMCA集会室

### ☆「ながまちふれあいフェスティバル2012」の開催

~笑顔の輪 みんなで広げる ながまちフェスタ~

日時：2012年11月11日(日) 10:00~15:00

場所：中央公民館長町館・長町緑地・老舗記念館

主催：ながまちふれあいフェスティバル実行委員会

金沢市青少年団体連絡協議会

団体活動紹介では金沢YMCA、金沢ワイズメンズクラブ、金沢犀川ワイズメンズクラブの活動状況を紹介します。

ご家族、友人、知人をお誘いいただき、皆さんのお出かけをお待ちしています。

### Happy Birthday

メネット 伊藤 悦子さん 11月15日

## ~~~~~ ネット報 ~~~~~

### 母たちの趣味

今年の夏に亡くなった主人の母は、病気になる前まで水彩画を習っていました。主人の父が亡くなり義兄家族のもとに行ってから、習い始めたと思います。いろいろな習いものの中から水彩画を選んだようです。何年か前には義兄と一緒に小さな個展を開くまでになり、年賀状には自分の絵を印刷したりしていました。義兄は画家にはなりませんでしたが美大出身ですので母の血が流れているのかもしれないと思いました。弟である私の主人といえば、絵を見るのは大好きですが、批評専門で全く絵心はありません。私もそうです。自分の書いた下手な絵は見たくないですね。主人の母と友人だった私の母も、若いころスタンドグラスをやっていて、今はラピレスといった造花を習っています。スタンドグラスは絵(図柄)を書いて、ガラスを選び、ガラスを切り、ハンダごてで接着します。大きな作品となるとかなり時間がかかり重労働です。私はそばで見ていて絵を書く才能、ガラスを選び組み合わせる美術的センスがないと良い作品ができないと思いました。母は全く絵を習ったことはなくスタンドの先生や造花の先生について習っただけですが、結構素敵な作品をたくさん作って残してくれています。私の診療室の玄関や出窓にはスタンドグラスや造花



があつて心を和ませてくれています。母はスタンドグラスで手を切ったりするので歯科医の私はしないほうが良いと言っていました。私もこんな手間暇かかる作業はできないし、それよりも絵心がないから無理だと直感しました。何も無いところから作り出すことの凄さを2人の母から感じました。

ただ私もお花は大好きで生け花を少し習っていたので毎週生花を玄関に飾りますが、そのお花は何日間だけの命です。母たちの絵やスタンドグラス・造花は孫の代までは残ると思いますが、私の生け花はすぐ枯れて残りません。少しさみしい気がしたので写真だけは撮っておくようにしました。

(やまもと のりこ 記)